

一般質問

櫻井 紀栄 議員



11月からは

一般質問

5人の議員が登壇し、町政に対する質問をしました。

質問のねらい

子どもたちの遊びと交流について

児童館は無料の遊び場として認知されがちだが、本来は地域の児童福祉・ソーシャルワークの最前線の拠点である。特に、冬に屋内で自由に遊べる、集える場所がないという課題が長年解決されておらず、子ども、

保護者、祖父母にとって不満が募り続ける重要な問題となっている。また、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に向けて、あそびのひろばにおける人数や利用時間の制限、予約制の解除が必要と考える。

ここが聞きたい

児童館の必要性は

問 児童館の設置は地方自治体が決定するため、その自治体により整備状況、役割、機能等は異なる。児童館の機能や必要性について町としてどのように考えているか。

答 児童館の必要性をどう捉えるかより、町の子育て支援には何が必要かという面から検討すべき。児童館という形にとらわれずに、多様化するニーズに沿い、子どもの居場所を作ることが必要。



プレイハウスでの活動の様子

ここが聞きたい

子どもが使いやすい施設に

問 子どもたちの活動場所づくりとして、総合体育館のロビーに談話スペースを設けることで、柔軟に利用できるのでは。また、施設の利用ルールを子どもが使いやすいよう整備すべきでは。

答 体育館は主目的がスポーツのため、談話スペースは難しい。隣のコミセンと併せて活用するよう指定管理者と協議する。現行ルールで対応可能だが、子どもが分かりやすい掲示に努めていく。

ここが聞きたい

子どもの交流のきっかけを

問 本町と太美の子ども同士の交流が少ないという課題がある。皆で混ざって遊び、人間関係の輪を広げることも重要。子どもたちに交流のきっかけや場所を作る必要があるのでは。

答 今までもプレイハウスやあそびのひろばにおいて、本町と太美の間で交流事業を実施している。また、認定こども園でも運営法人が、町外のグループ園との交流事業を実施している。

ここが聞きたい

教育サービスに選択肢を

問 放課後の過ごし方として、プレイハウスだけではなく、保護者が教育の価値観やライフスタイルに合わせて、教育サービスを選択できる環境整備が必要では。

答 町内には、既に公的サービスの他、習字やピアノ等の習い事、スポーツ少年団や育成会等が存在。さらにプログラミング教室開講の予定もあり、今後、選択肢が増えていくと考えている。

ここが聞きたい

あそびのひろばの制限緩和

問 保護者には、予約や人数制限にとらわれずに、当日に利用したいという声が多い。1日でも早く、コロナ禍前の利用環境に戻すべきと考えるが、今後の見通しは。

答 あそびのひろばは、新型コロナウイルス感染拡大以降、利用制限を続けているが、令和5年4月からは制限を緩和して、事前申込み不要の9時から14時までの開設に戻したいと考えている。



一般質問

鈴木 岩夫 議員

質問のねらい どうする、これからの当別

新型コロナウイルス感染症の法律上の分類が「2類」から、季節性インフルエンザ同等の「5類」に引き下げられるが、今後の感染対策や医療体制はどうか。また、危機に直面している農業は今後10年どのような

方針で進むのか。安心して産み・育てられるまちづくりには何が求められるのかなどを町長に質した。また、給食費改定や教育課題解決に向け、教育行政の役割は何か、課題解決に向けた決意を教育長に質した。

ここが聞きたい 医療・介護施設への支援は

問 本町でも医療機関ではスタッフが感染したり、介護施策ではクラスターが発生したり、経営にダメージを受けた施設が少なくない。医療・介護施設への経営支援を実施すべきでは。

答 設備整備、人材や衛生物資の確保、医療従事者の検査費用などの財政措置を全額国費で行うように、全国知事会から国へ既に要請している。今後全国知事会の動向を見て対応を検討していく。

ここが聞きたい 消費者も検討委員に

問 食料確保は重要な課題。今後10年どのような方向が求められるのか、農家のみならず消費者も含めた検討が必要。農業10年ビジョン検討委員会に消費者も委員として参加すべきでは。

答 農業10年ビジョンの見直しは、検討委員会ではなく各団体の役員会などに出向いて聞き取りする手法を進める。消費者などの意見はパブリックコメントを実施し、ビジョンへ反映させていく。

ここが聞きたい 高校卒業まで拡大を

問 通院医療費は小学校卒業まで無料となるよう助成を行っているが、安心して産み・育てられるまちづくりに向けて、助成を高校卒業まで拡大するならば、社会人口が増えている今が最適では。

答 育児負担の軽減は重要な施策。国ではこども家庭庁を創設し、政策を強力に進めるとされているため、これらの施策の動向を注視して、効果的かつ必要な施策を見極め、総合的に判断する。

ここが聞きたい 分散型で自給可能な再エネ

問 町内では大規模再エネ発電施設の開発計画が進んでいるが、求められているのは個人等が自ら発電し自ら使う分散型で時給可能な取り組み。町のゼロカーボン推進計画はどのような方向性か。

答 再エネを活用し持続可能な社会の実現を目指す計画で、分散型で自給可能な取り組みと方向性は一致する。ゼロカーボンシティー実現に向け、地域資源を最大限活用した施策を展開していく。

ここが聞きたい 西当小・中の重要課題

問 義務教育学校がスタートして1年が経過。各学校の整備を担う教育行政として、西当別小学校・中学校の解決すべき重要課題はどのようなものを想定しているか。

答 校舎の古い、新しいに関わらず、子どもの学習環境に差があるべきではない。できることから改善してきたが、子どもたちの学習環境を改善すべく、効果的な予算獲得に努めていきたい。



西当別小学校（上）・西当別中学校（下）

一般質問

佐藤 立 議員



質問の
ねらい

町民参画によるまちづくりの推進

町の諸活動を町民に説明することで、町政に対する町民の信頼と理解を深め公正でひらかれた町政を推進するという情報公開条例の趣旨を踏まえ、予算編成過程の情報公開について質問した。また、ふくろう図書

館の民間ビル移転に向けた事務と、町民参画について、西当別地区の町民の意向を反映した西当別小学校・中学校の今後についてもあわせて質問した。

ここが
聞きたい

予算編成過程を公開しては

問 町政を公正で開かれたものへ推進し、町民の信頼や理解を深めるため、町政の円滑な執行に影響がない範囲で、予算要求、財政査定など予算編成過程を公開してはどうか。

答 総合戦略に沿った施策を予算計上しているが、その判断は町長が総合的に行っている。これらの過程の公開は、今後の予算編成へあらぬ期待や落胆を抱かせかねないので、公表する考えはない。

ここが
聞きたい

町財政の理解につながる

問 どれだけ厳しい中で町の財政が運営されているのか理解してもらうために、予算要求の大枠の金額などの情報提供をしては。

答 積極的な情報公開の必要性は十分に理解しているが、町の作成した予算については、町民を代表する議員の皆様にも、その内容の確認と審議をいただいている。



当別町図書館内部

ここが
聞きたい

図書館移転の検討時期は

問 当別駅南口に新築される民間ビル内へ、ふくろう図書館を移転する方針が示されたが、令和5年度に設計等を行い、令和6年度に移転工事を行うという予定で間違いはないか。

答 図書館の検討は令和5年の夏頃までに進める。図書館が民間ビルのフレームの中に入るの、どのような配置ができるか、図書館の理想をどれだけ取り入れられるか秋口をめどに検討したい。

ここが
聞きたい

早期に町民の声を聞く場を

問 図書館移転にあたり、町民から話を聞くなどの仕掛けを令和5年度早々行う必要があるのでは。

答 民間が進める部分が大枠であるため、その中で最大限いろいろなことが叶うように、町教委としても町民から意見を聞く機会を細かく作っていきたいと考えている。

ここが
聞きたい

西当別小・中学校の今後

問 西当別小・中学校は改修を重ねているが、確実に老朽化が進んでいる。今後どうするのか、西当別地区の子育て世代が参加できるオープンな場を設け、検討や合意形成を図る必要があるのでは。

答 西当別小・中学校は、地域の学校でもあるため、保護者、地域住民、教職員からの意見を広く取り入れていく必要があると考えている。



一般質問

五十嵐 信子 議員

質問の
ねらい

利便性重視と早急な環境の整備を

子どもが一日の大半を過ごす場所であり、避難所ともなり得る学校は、設備整備にも配慮が必要である。特にトイレは、心身に影響を及ぼす重要な設備であるため、西当別小・中学校のトイレ洋式化は早急に行うべ

きである。また、リモート相談窓口という新スタイルの行政窓口サービスが開設されるが、太美出張所の利便性を高めるなど、町民のニーズに応えられる業務につなげるべきであると質した。

ここが聞きたい 安心して利用出来る環境を

問 令和4年度、西当別小学校では12基のトイレが洋式化されたが、高学年が使うトイレは未改修。これも改修すべきでは。一部児童だけにストレスがかからないように早急に検討すべきでは。

答 快適な学習環境のためには、洋式化が望ましいと考えている。西当別小学校では、低学年が利用する場所を優先的に改修したが、残りのトイレについても順次改修を行っていききたい。



改修されたトイレ（西当別小学校）

ここが聞きたい 西当別中トイレの洋式化

問 避難所ともなる学校のトイレ整備は重要。洋式化含め、多目的トイレやウォシュレット機能などは、避難生活での衛生管理にも重要なもの。西当別中学校も先送りせず、早急に整備すべきでは。

答 西当別中学校も地域の避難所となっていることから、洋式化が望ましいと考えている。西当別小学校と併せ、少しでも早く改善できるよう予算獲得に向けて努めていく。

ここが聞きたい リモート相談窓口の開設

問 太美出張所で扱えない手続きは、本庁舎やゆとろへ行かなくてはならない。多様な手続きができるよう望む声が多い。リモート相談窓口は、町民にとってどのようなメリットとなるのか。

答 太美から本町まで行くなどの手間を省き、利便性を高めることが最大のメリット。デジタル技術を活用し、画面を通して庁舎窓口と同様に相談できるなど、新たなスタイルの庁舎窓口を目指す。



当別町総合保健福祉センターゆとろ

ここが聞きたい 総合的な相談が可能に

問 リモート相談窓口は、太美出張所から、ゆとろの地域包括支援センターにもつながり、行政手続だけでなく、高齢者が安心して総合的な相談もできるものと認識して良いのか。

答 地域包括支援センターと相談できる環境はもちろん、成年後見支援センター、くらしサポートセンター、消費生活相談窓口など、本庁舎やゆとろの全ての窓口と総合的に相談できるようになる。

一般質問

山崎 公司 議員



質問の
ねらい

美味しい朝食をしっかりと食べよう

子どもの体力向上に向けて、全国体力・運動能力・運動習慣等調査の結果や当別町体力向上プランの具体的な内容について質した。また、建立から50年以上が経過する文学碑「石狩川」を活用して観光を活性化

させてはどうか質した。最後に、自治体 DX へ対応していくために、OJT^{※1}から切り離れたリスキング（学び直し）が必要と考えるが、どのような研修方法を実施しているのか質した。

ここが
聞きたい

生活習慣の改善を

問 生活習慣等調査の中で、朝食を毎日食べるかという問いに、当別町の女子生徒では36%との報告だった。どのような原因があって、教育委員会としてはどのように指導しているか。

答 朝食の必要性については学校で取り組みを進めているが、食べない子が増えているのは問題。引き続き改善を図るが、学校や町教委だけで解決する問題ではなく、家庭との連携も深めていく。

ここが
聞きたい

公共施設の利用無料化を

問 児童生徒の公共施設利用料については、以前から無料化するよう提案や質問をしているが、なぜ前に進まないのか。児童生徒の体力向上のためにも実施すべきではないか。

答 令和5年度において総合的な見直しを図るため、各課において情報収集している段階。施設を積極的に活用し、体力向上につなげてほしい。できれば無料の方向へもっていききたい。



文学碑「石狩川」

ここが
聞きたい

看板・トイレの改修を

問 文学碑「石狩川」を観光資源として活用するため、看板やトイレの改修が必要では。また、文学碑やロイズふと美工場、道の駅などをユルタビとうべつに、一日散策コースとして追加しては。

答 看板やトイレは、雪解け後に再確認し対応する。ふくろうの大看板は老朽化が見られるため対応を協議したい。ユルタビとうべつは観光協会発行のため、追加等は観光協会の判断となる。

ここが
聞きたい

今後の自転車の貸し出し

問 太美駅のフィーカでのレンタサイクルの実績はどれくらいか。レンタサイクルは交流人口増や観光活性化につながるので、フィーカの閉館後は、道の駅で実施してはどうか。

答 過去5年間の年平均が65件で、たくさんは言い難い実績と観光協会から聞いている。道の駅での実施については、観光協会と（株）tobeとで実施する方向で調整中と聞いている。

ここが
聞きたい

書かない窓口の実現は

問 自治体のデジタル技術導入が加速している。富良野市では、窓口での手続きや待ち時間短縮等の効果がある「書かない窓口」が、住民から高く評価されている。当別町でも実現できないか。

答 現在、国が整備を進めるガバメントクラウドでは、「書かない窓口」の実装に向けて、検討が進められている。町としては、国の動向を注視しつつ、導入に向けた研究を進めていきたい。

※1 OJT…On The Job Trainingの略。職場で仕事をしながら業務の知識を身につける教育方法。

議員表彰

全国町村議会議長会表彰

2/8 伝達式（議場）



議長から伝達を受ける島田議員（左）

島田議員は、議員在職 27 年が経過し、長きにわたり地方自治の発展に寄与したとして、その功績が認められ、全国町村議会議長会より表彰されました。

議員表彰

北海道産業貢献賞表彰

2/14 表彰



古谷議員

古谷議員は、篠津中央土地改良区理事長などを歴任し、土地改良事業などで町の農業振興に尽力されてきました。また、北海道土地改良事業団体連合会の理事も務められ、全道の農業振興にも貢献されてきました。この度、その功績が認められ、北海道産業貢献賞（農業関係功労者）を受賞されました。

森林活性化推進議員連盟

当別町の森林が目指すところ

2/20 研修会



研修会の様子

森林活性化推進議員連盟では、当別町森林組合の高木英孝参事を講師に迎え、町の森林の状況、森林環境譲与税、森林とエネルギーの関わりについて研修しました。

令和5年第1回定例会

日程：3月3日～17日

◎：全員賛成 ○：賛成多数 ×：反対多数

結果

掲載ページ

傍聴 10名 議会中継視聴回数 2,049 回 (5/22 現在)

【議員提案】

当別町議会の個人情報の保護に関する条例制定について ◎ -

【委員会報告】

道内所管事務調査の実施について - -

【補正予算】

令和4年度一般会計補正予算（第6号）
7,233 万円を減額し、総額を 156 億 3,672 万円とするもの ◎ p.10 ~ p.15

令和4年度国民健康保険特別会計補正予算（第2号）
5,549 万円を減額し、総額を 20 億 8,539 万円とするもの ◎ -

令和4年度介護保険特別会計補正予算（第3号）
4,553 万円を増額し、総額を 18 億 201 万円とするもの ◎ p.12

令和4年度下水道事業特別会計補正予算（第2号）
701 万円を減額し、総額を 10 億 678 万円とするもの ◎ -

令和4年度水道事業会計補正予算（第2号）
資本的支出の工事請負費を 1,191 万円減額等するもの ◎ -

【条 例】

当別町子ども・子育て会議条例の一部改正
子ども・子育て支援法の一部改正に伴う条例の一部改正 ◎ -

当別町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準を定める条例の一部改正
特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業並びに特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正 ◎ -

当別町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正 ◎ -

当別町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正
放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準の一部改正に伴う条例の一部改正 ◎ -

当別町保育に関する条例の一部改正
子ども・子育て支援法の一部改正に伴う条例の一部改正 ◎ -

【請願・陳情】

《令和4年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》
医療機関・介護事業所および障害福祉事業所における物価高騰への財政措置を求める陳情書 採 択 -

〔提出者〕北海道医労連札幌地区協議会 議長 黒岩 勉
※医療機関等への食材や光熱水費高騰に対する財政措置等を求めるもの

《令和4年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》
安全・安心の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める陳情書 採 択 -

〔提出者〕北海道医労連札幌地区協議会 議長 黒岩 勉
※医療従事者等の配置基準見直しや大幅増員等を求めるもの

《令和4年第4回定例会（12月）総務文教常任委員会へ付託》
子どもの新型コロナウイルス感染症対策緩和を求める意見書の提出を求めることについての陳情 趣旨採 択 -

〔提出者〕北海道子どもの健康を考える会 角野 飛鳥
※子どもの感染症対策について見直し等を求めるもの

【請願・陳情】		
《令和4年第1回定例会（3月）総務文教常任委員会へ付託》 町立当別小学校「跡」の利活用に関する陳情書 〔提出者〕特定非営利活動法人ゆめの種子トーベツ 理事長 堀江 三千代 ※図書館等の機能を備えた生涯学習施設として当別小学校跡の活用等を求めるもの	不採択	—
《令和4年第2回定例会（6月）総務文教常任委員会へ付託》 当別町新庁舎に関する陳情書 〔提出者〕太美地域活性化プロジェクト コアメンバー 代表 岡田 隆範 他2名 ※新庁舎建設候補地へ西当別小学校敷地の追加等を求めるもの	不採択	—
《令和4年第3回定例会（9月）総務文教常任委員会へ付託》 当別町の学校給食の無料化を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※当別町の学校給食の無料化等を求めるもの	不採択	p. 23 討論①
《令和4年第4回定例会（12月）産業厚生常任委員会へ付託》 物価高騰からくらしと経済を立て直す施策を求める意見書の採択を求める請願書 〔提出者〕新日本婦人の会当別支部 支部長 佐藤 美智子 他4団体 〔紹介者〕当別町議会 議員 鈴木 岩夫 ※賃金を引き上げるために中小企業への支援等を求めるもの	不採択	p. 23 討論②
【令和5年度当初予算関係】 ※下記の14議案は令和5年度各会計予算審査特別委員会へ付託		
令和5年度一般会計予算 総額を134億422万円とするもの		p. 8 ~ p. 16
当別町個人情報の保護に関する法律施行条例制定 デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴う条例制定	※各会計予算審査特別委員会で審査し、委員会から本会議に報告	—
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の整理に関する条例制定		—
個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴う関係条例の一部改正		—
当別町健康増進計画等策定委員会条例制定 当別町健康増進計画等策定委員会を設置するための条例制定		—
当別町地域間交流拠点施設に係る指定管理者の指定について 当別町地域間交流拠点施設の指定管理者を指定するため、議会の議決を得ようとするもの		—
当別町地球温暖化対策実行計画策定委員会条例制定 当別町地球温暖化対策実行計画策定委員会を設置するための条例制定		—
令和5年度国民健康保険特別会計予算 総額を21億3,991万円とするもの		—
当別町国民健康保険条例の一部改正 健康保険法施行令の一部改正に伴う条例の一部改正		—
当別町国民健康保険税条例の一部改正 保険税率の改定等に伴う条例の一部改正		—
令和5年度後期高齢者医療特別会計予算 総額を2億9,373万円とするもの		—
令和5年度介護保険特別会計予算 総額を17億2,369万円とするもの		—
令和5年度介護サービス事業特別会計予算 総額を6,600万円とするもの		—
令和5年度下水道事業特別会計予算 総額を9億5,315万円とするもの		—
令和5年度水道事業会計予算 収益的収入総額を6億7,102万円等とするもの		—
令和5年度各会計予算審査特別委員会報告 付託された全ての案件を「原案のとおり可決すべきものと決定した。」と報告	○	p. 16

討論①

当別町の学校給食の無料化を求める請願書

採択すべき 鈴木議員

無料化したい思いを伝えて



今すぐには無料化を実現できなくても、実現を目指して頑張りますというメッセージを発信しても良いのでは。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
採	不	採	不	不	採	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

討論②

物価高騰からくらしと経済を立て直す施策を求める意見書の採択を求める請願書

採択すべき 鈴木議員

今こそ消費税減税の意見書を



多くの人に影響する消費税減税が最も効果的では。政府の動向を見て対応するならば、今が意見書を出すタイミングである。

【賛否が分かれた採決の公表】

櫻井	佐々木	佐藤	西村	五十嵐	鈴木	山崎	秋場	澁谷	山田	古谷	稲村	島田	岡野
不	不	不	不	不	採	不	不	不	不	不	不	不	不

※議長は議事進行を行うため賛否表明はしません。
※「採」は採択すべき。「不」は不採択すべき。

産業厚生 町内の積雪状況を視察 常任委員会 2/1 町内所管事務調査

町内の積雪状況を視察し、町道の除排雪状況や新たに稼働した太美雪堆積場について、担当課から説明を受けました。



太美雪堆積場

議会のうごき（令和5年2月～5月）

2月 1日	会派代表者会議 産業厚生常任委員会町内所管事務調査	3月 15日	予算審査特別委員会
7日	総務文教常任委員会	16日	予算審査特別委員会
16日	会派代表者会議	17日	議会運営委員会 議員協議会 予算審査特別委員会 第1回定例会 議員協議会 議会広報特別委員会
20日	当別町議会森林活性化推進議員連盟研修会	29日	議会広報特別委員会
24日	議会運営委員会	4月 14日	議会広報特別委員会
3月 3日	議会運営委員会 議員協議会 第1回定例会	5月 9日	会派代表者会議
6日	総務文教常任委員会	10日	議員懇談会
7日	産業厚生常任委員会	11日	議員懇談会 第1回臨時会 議員協議会 議会広報特別委員会
8日	第1回定例会	17日	宮城県登米市議会会派行政視察来庁
9日	総務文教常任委員会	19日	議会広報特別委員会
10日	産業厚生常任委員会		
13日	第1回定例会		
14日	第1回定例会		

6月定例会のご案内

<6月定例会>

予定 6月16日（金）～6月23日（金）

内容 補正予算審査、一般質問など

※本会議や委員会の傍聴が可能です。

議会インターネット中継

本会議と常任委員会のライブ中継や録画配信をインターネットにより配信しています。詳しくは、ホームページをご覧ください。



※日程が決まり次第ホームページへ掲載します。

傍聴人数の制限解除

議場での傍聴は、3月から人数制限を解除しています。議会における感染症対策については、今後も協議・検討していきます。議会インターネット中継については引き続き実施しますのでご活用ください。

編集後記

新しい委員会体制での編集がスタートしました。4月末の任期をもって副委員長を務めた鈴木議員が退職され、この度の改選により3名の新メンバーが加わりました。引き続き、議会が身近に感じられる議会だよりを意識し、編集に努めてまいります。

議会広報には、町民のまちづくりへの主体的な参画につながる重要な役割があります。今後、議会だよりに加えて、その他の媒体も活用して広報機能の強化に取り組みます。また、より広く町民の声を反映できる議会とするため、広報広聴の一体的な推進にも取り組んでまいります。

議会広報特別委員会一同

ご意見ご感想をお寄せください

議会だよりの編集について、ご意見・ご感想がありましたら、下記連絡先へご連絡ください。今後の参考とさせていただきます。

議会事務局

〒061-0292 石狩郡当別町白樺町 58 番地 9

TEL 0133-23-3247 FAX 0133-23-4474

E-mail gikai@town.tobetsu.hokkaido.jp

議会広報特別委員会

委員長	佐藤 立
副委員長	佐々木 常子
委員	櫻井 紀栄
委員	芳形 幸夫
委員	海野 学
委員	角田 広佑

